



# 個室ユニット 推進協ニュース

Number 149

- 1面 実配置を勘案した基本報酬に見直しを  
介護保険部会  
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 「認知症体験」に驚きと納得の声  
介護保険委員長のよもやま話  
支部だより【福岡】  
第1期ユニットリーダー研修  
ユニットケア研修指導者勉強会
- 3面 施設紹介【菩提樹】(大分)  
施設紹介【レジデンス花】(静岡)
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト  
ズバリ回答! 人事・労務のお悩み  
入会施設のご紹介  
用語解説、今後の予定  
PC無料引き取りリサイクル

【発行】一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

## 実配置を勘案した基本報酬に見直しを

### 推進協 人員基準の緩和など5項目要望へ 自民党個室ユニットケア推進議連へ

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)は、6月26日、東京・永田町の自由民主党本部で開かれた個室ユニットケア推進議連(石原伸晃会長)の総会で基本報酬を勘案した実配置(実配置)を勘案した単価に見直すことや、ユニットリーダー全員を「特定処遇改善加算」の対象とし、併せて個室ユニット固有の加算率を設定すること、ユニットリーダー研修受講者を常勤職員と換算できるように人員配置基準を緩和することなど5項目の見直しを要望した。石原会長は「2025年問題などを解決するためにも個室ユニット化を急ぐ必要がある」と指摘。赤枝会長は「可能なものは前倒し改定(改正)でお願いしたい」と早急な対応を求めた。



個室ユニットケア推進議連総会(自民党本部)

#### ■ユニット整備急ぐべき(石原会長)

議連総会には、石原会長や中村裕之事務局長、赤枝雄相相談役ら議員約20人(代理、元職含む)、推進協から赤枝会長、安江紀子副会長、佐々木亀一郎理事、赤枝眞紀子理事、厚生労働省から大島一博老健局長、武井佐代里高齢者支援課長、真壁馨老人保健課長、谷田貝泰之保護課長、財務省の北村明仁主計局主査が出席した。

石原議連会長は開会挨拶の中で「社会保障制度には(団塊の世代が全員後期高齢者となる)2025年問題だけではなく、40年、50年と問題が続く。国民の希望である個室ユニットの(報酬上の)評価と整備を急ぐ必要がある」と述べた。

#### ■理解と協力を強く要望(赤枝会長)

続いて赤枝会長が老健局に設置されている個室ユニット施設推進検討会(会長・大森彌東京大学名誉教授)の討議経過を紹介した後、提出した要望書(5項目)「要望一覧」(参照)の概要を説明し、理解と支援を求めた。

赤枝会長は「個室ユニット型は多床室より1.235倍の職員を配置しているにもかかわらず、基本報酬は多床室の1.098倍(理論値)にすぎず、約1割不足している(要望①)」「指定基準でユニットごとにユニットリーダーの配置を求められ



要望内容を説明する赤枝会長(右)、安江副会長(中)、佐々木理事(左)

ているが、ユニットリーダー全員を加算の対象とすべき。その結果、対象が増える個室ユニット型に固有の加算率を設定すべきだ(要望②)」と指摘した。

また「人員配置基準でユニット型はユニットごとに常勤職員のユニットリーダーの配置が義務付けられているが、人材不足で確保が難しい。ユニットリーダー研修を受講した非常勤職員でも換算できるように緩和してほしい。生活相談員、看護職員についても同様緩和してほしい(要望③)」

「ユニット型施設に関する調査研究が近年実施されていない。エビデンス蓄積のためにも実施して検証してほしい(要望④)」

「生活保護の被保護者がユニット型に入居しにくいのは1つの差別だ。所得に関係なく個室ユニットに入居しやすくなるよう利用制限を是正してほしい(要望⑤)」などと述べた。

#### 推進協の要望(骨子)

- ①基本報酬単価の見直し(実配置を勘案した基本報酬の見直し)
- ②「特定処遇改善加算」(全ユニットリーダー対象と固有加算率を)
- ③人員配置基準の緩和(非常勤職員を「常勤職員換算」で)
- ④ユニット型の調査研究(個室ユニットの実態把握と検証を)
- ⑤生活保護の方への尊厳確保(個室ユニット入居を推進)

#### ■制度再設計や調査が必要

一方、議員から「施設基準や人員配置基準など介護保険制度の再設計が必要ではないか」「特定処遇改善加算の配分はもっと自由でよいが、チェック機能も大事だ」「生活保護受給者が多床室に入らざるを得ないのはおかしい」「都道府県別に個室ユニット率などを調査し、検証すべきだ」などの意見が寄せられた。

#### ■配置基準は次期改定で検討(厚労省)

これに対し、厚労省は「人員配置基準の緩和は次の介護報酬改定の大きなテーマになる。来年開かれる介護給付費分科会の議論などを踏まえて検討したい」「特定処遇改善加算は消費税率引き上げが財源であり、次年度も継続する。配分については(従前の処遇改善より)事業主の自由度を高めてある」「生活保護受給者の個室ユニッ

ト入居は(低所得の)非保護の方や在宅サービス利用者とのバランスも重要になっている」と答えた。

### 介護保険部会

高齢者住まいの資料などを追加

介護保険部会 文書専門委を創設



第78回介護保険部会

### 国政ニュース

#### ◎認知症施策大綱を決定

(6月18日)

政府は「新オレンジプラン」の後継となる「認知症施策推進」(2025年度まで)の大綱を閣議決定した。「共生」と「予防」を両輪とし、啓発や予防、支援などに取り組む。批判を浴びた数値目標「70代での発症を10年間で1歳遅らせる」は参考値に変更した。

#### ◎「骨太方針19」を閣議決定

(6月21日) 消費税率10%へ

政府は今年の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針)」と成長戦略実行計画を閣議決定した。消費税率を10月1日から10%に引き上げて少子化対策や社会保障を拡充。最低賃金を千円に引き上げる。社会保険の自己負担引き上げや給付抑制に直接言及しなかった。

#### ◎参院選 7月21日投票

(6月26日)

政府は臨時閣議で参院選の日程について「7月4日公示、21日投票」と決めた。争点について安倍首相は「経済安定の継続」や「憲法改正論議」などを示し、野党は「老後資産2千万円問題追及」などを掲げている。

#### ウの目タカ目

#### ◎「超安全運転」

○…「終始、与党へスだったな」。ベテラン政治記者が通常国会を振り返った。参院選を控え、安倍首相が与野党衝突となる重要法案を提出しなかったことが影響した。

○…「提出された法案は57本と少なめ。野党が勢い付く憲法や年金などの関連法案はゼロ。野党は肩透かしを食った格好です」と女性記者がフォローした。

○…安倍首相が「安全運転」を心掛けたのは参院選を意識してのこと。今回、改選を迎えた自民と公明両党の合計議席は77。首相が打ち上げた両党の最低獲得目標は63議席(改選124議席の過半数)と手堅い。「超安全運転」の戦いに。(檜)

改選議席 77 → 最低目標 63 議席



# 「認知症体験」に驚きと納得の声

## リーダー研修実地研修施設勉強会

6月3日、東京都の大田区産業プラザで「2019年度ユニットリーダー研修実地研修施設勉強会」が開かれ、約70人が参加した。VR(バーチャル・リアリティ)機材を使った認知症体験やユニットケア事例発表、入居者支援の在り方に関する講義などが行われた。

### 2施設が実地研修施設に

勉強会に先立ち、事務局が今年度の研修スケジュール(ユニットケア施設管理者研修2回、ユニットリーダー研修12回など)、研修の流れ、必要提出書類、クラウドとWEB会議システムの利用方法などについて説明した。井手明利ユニットケア研修事業推進室長が新規に実地研修施設となった「せんねん村矢曾根(愛知県・木下典子施設長)」「第二長上苑(静岡県・水谷秀夫施設長)」を紹介した。



水谷施設長(左)と木下施設長(中央右)が挨拶

### 会場から「怖い！」

続いて(株)シルバード社による「VR認知症体験会」が行われ、参加者全員がゴーグル型のVR機器を頭に装着し、認知症の人が見ている日常を体験(視覚体験)した。高い階段での体験では転落しそうな錯覚に陥り、足がすくんだり、懇談中に「存在しないはず」の人や蛇が見えたり、会場から「うわ〜」「怖い！」の声も。

体験後、講師は「認知症を他人事として見ていた人でも一人称で体験すると全く違ってくる」「認知症の人のケアや共生には誤解や偏見を溶かすことが第



VR機器を装着して認知症の方の四角を疑似体験

### 8例の事例発表

事例研究発表は8例。テーマと施設名は以下の通り。「頼もしいパートナー」(福祉用具)、「せんねん村矢曾根」(「毎日の記録とPDC Aサイクルについて」(岐阜南仙寿うれし野)、「花柳徳文元 踊ります!」(ニューボード)、「想いが届く。願いが叶う。」(プレジールの丘)、「生きがい活動」で活動・参加面で自立支援(しよじゆの里三保)、「学び育つ職場環境を目指して」(いずみの園)、「働きやすい職場づくり」(玄海園)、「看取り介護の実践について」(ゆーり)。

### 人生を肯定的に



講義する尾島校長

最後に関東福祉専門学校校長の尾島朱美校長が「高齢者の生きがいと人生の統合へ」をテーマに講演した。「尊敬を支える介護とは、その人らしい生活を自分の意思で送れることを可能にすること」「絶望ではなく、今までの人生を肯定的に統合することが大切であり、それを支援することが介護職員の重要な役割だ」などと述べた。

## 第1期リーダー研修

## 4会場で開催

推進協は第1期ユニットリーダー研修(座学研修)を名古屋(ウインクあいち)福岡(リファレンス駅東ビル)、静岡(男女共同参画センターあざれあ)、東京(銀座ユニーク)の4会場で開催した。今期4会場の受講者は202名(名古屋31名、福岡43名、静岡35名、東京93名)。4会場の講師は以下の通り。

【6月10日・11日 名古屋】木下典子氏(せんねん村矢曾根・施設長)、杉山嘉隆氏(燦燦・介護支援専門員)、杉田美智代氏(岐南仙寿うれし野・介護課長)、原田侑昌氏(あさひが丘・ユニットケア推進室長)の4名。【6月13日・14日 福岡】上田かな氏(樹陽会・理事長)、種延孝治氏(天空の杜・生活相談員)、出口哲也氏(のぞみの杜・受入担当)、恵比根誠氏(のぞみの杜・受入担当)の4名。【6月20日・21日 静岡】浦田卓靖氏(静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課課長)、黒田秀宗氏(みくらの里・介護主任)、種延氏の3名。【6月27日・28日 東京】大和田竜太氏(ニューボード・施設長)、吉田愛氏(明見苑・副施設長)、齋藤英輔氏(竜爪園・支援相談員)、篠崎香氏(セ・シボン)かしま・介護主任)、杉田氏の5名。

吉田副施設長の講義の一部を紹介

○何故、ユニットケアを学ぶのか  
以前、集団処遇に疑問を感じながら、老健で働いていた。ユニットケアの存在を知り、ユニット型個室の明見苑に転職した。入職当時はユニット型でも集団処遇だった。「その人らしく生活できるためにはどうしたら良いだろう」と悩みながら、少しずつ個別ケアに近づいてきた。研修を通して、入居者の生活をよりよくするために学びと気づきを得てほしい。

○心が動かないと体は動かない  
リハビリをしても思い通りに思っても、本人がその気にならなければうまくいかない。「おばあちゃんの墓参りに行きたいな」というつぶやきを聞いて「お墓のところは階段が3段あるから、階段が登れるようになればお墓参りに行けるようになりませんか」といった具合に心に働きかける支援をしてほしい。

○気持ちを受容すれば言葉かけも変わる  
「帰りたい」という入居者に対し、その方の気持ちを思いやり、受容することが重要。「ちょっと待ってね」ではなく「今、行きますからね」の答えの方が入居者さんの安心につながる。



名古屋会場(ウインクあいち)



福岡会場(リファレンス駅東ビル)



静岡会場(男女共同参画センターあざれあ)



東京会場(銀座ユニーク)

## ユニットケア研修指導者勉強会 研修の主旨は受講生

6月5日、東京のAP品川で2019年度ユニットケア研修指導者勉強会を開催し、39名が参加した。北原悦子代表(人材開発支援協会)が、講師の心構えや効果的な研修の要素、伝える技術など講師に求められるテクニックについて講義した。

北原講師の講義の要旨は以下の通り。

- 研修は経験を通して学習する場  
研修は経験を通して学習する場を提供するもの。講師には受講生の理解と学習を支援し、学習しやすい場づくりをする役割が求められている。
- 研修での3つの学び  
研修では講師からの学び(情報収集)だけでなく、受講者からの学び(情報交換、客観視)と自分自身からの学び(気づき)がある。



講師の役割について説明する北原講師(左上)

## 支部便り

福岡・佐賀・長崎支部  
合同研修会・講演会



福岡支部の外国人制度研修会

第4回  
介護保険委員長の  
よもやま話  
標準化・効率化の指針について  
5月30日、厚労省が関係自治体に「介護保険施設等に対する実施指導の標準化・効率化等の運用指針(厚労省通知Vol.730)」を出しました。地方自治体によってバラ付き(ローカルルールなど)があったり、煩雑な文書提出が必要だったりして問題になっていた指導監督を標準化し、効率化することが大きな狙いです。

標準化は現場の改善が狙い  
実地指導の担当者から経験を通じて得た見識に基づき、「更に良くなって欲しい」という思いから、時として踏み込んだ助言をいただけるのはありがたいことだと受け取っています。しかし、その一方で根拠や意味の理解に差があったり、解釈通知などを狭義に捉えたり広義に捉えたりとその担当者自身の性格や経験によって左右されることがあります。

この様な経緯の結果として「現場の仕事の仕方や証憑書類の準備も含めて右往左往してしまう事を改善しましょう」という意味での標準化だと理解しています。

○さらなる議論整理  
今回の指針では介護保険法上の整理がなされているものの、老人福祉法やその他の関係法令での監査項目(職員処遇や会計、保健衛生、災害、預かり金など)と共通の部分も多いように感じています。特養の公益性に鑑み、事故を防止するなど必要なことだと思いつつ、資料作成には膨大な時間が消費されます。更に踏み込んだ議論整理を行い、証憑書類も含めて共通の書類のフォーマットを整え、クラウドのシステムが必要とされる情報を登録し、情報共有を図ることで、負担を減らすことが可能ではないでしょうか。

質を上げるために標準化があり、証憑は何を求めるときの書類なのか一旦整理することが必要だと考えます。引き続きの議論をお願いしたいと考えています。



(介護保険委員長 藤村二朗)

# 静岡県

社会福祉法人 花園会  
特別養護老人ホーム

# レジデンス花

～ うれしかったご家族からの声 ～

「母をレジデンス花に入居させてあげられたことが唯一の親孝行でした」



林典子館長(中央)と職員



口腔環境を維持できていると  
また、介護職員への口腔ケ  
ア指導を地道に行い続け、誤  
嚥性肺炎や感染症の罹患を減  
らし、いつまでもおいしく食  
事ができるように常に最適な

○認定歯科衛生士が常勤!  
認定歯科衛生士(在宅療養  
指導・口腔機能管理)が口腔  
ケアを管理されています。

普段は地域のボランティア  
活動や小学生等の福祉学習の  
場としても利用されているそ  
うです。  
施設の取り組みについて  
スタッフに話を聞きました。



地域交流室

○地域交流室「慧庵(えあん)」  
取材中に目を惹いたこの建  
物。かまどや大黒柱、囲炉裏  
のある座敷は昔ながらの住ま  
いそのもの。梅やカリンを漬  
け込んだピンがこちらに  
置いてあり、どこか懐かし  
い日本の農家や里山を彷彿さ  
せる光景です。



施設周辺の散歩を日課に

【自然の中の住処】  
JR東海道線の興津駅から  
車で約25分。山梨県にほど近  
い山間地。山里の風景の中に  
レジデンス花の切り妻屋根の  
ユニットが並んでいます。隣  
には同法人が運営する障害者  
支援施設百花園があり、周囲  
の自然と調和するように芝生  
の広場やレストラン、薬草園  
や畑がつけられています。

○施設内研修に注力  
ケアの質を上げるために施  
設内研修に着目。交代勤務の  
職員が参加しやすいように月  
4回実施しています。参加者  
数は毎月60名ほどになるそ  
うです。また、外部講師を招い



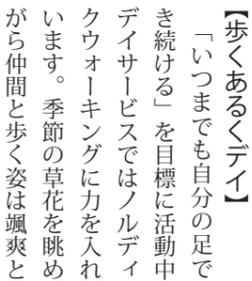
陶芸に打ち込む

活動意欲は創作にも向けら  
れていて、フロアの一角には  
陶芸用の作業場があり、棚に  
は個性的な陶芸作品が並んで  
います。



ノルディックウォーキング

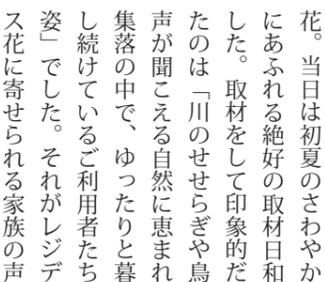
【歩くあるくデイ】  
「いつまでも自分の足で歩  
き続ける」を目標に活動中の  
デイサービスではノルディッ  
クウォーキングに力を入れて  
います。季節の草花を眺めな  
がら仲間と歩く姿は颯爽とし  
ています。体力別にクラス分  
けしているので無理なく続け  
られ、以前と比べてお客様が  
とても活動的になったそう  
です。



ケアする歯科衛生士  
の研修会やインターネット  
で受講できるオンライン研修  
の提供など様々な形で職員の  
学びをバックアップしていま  
す。

のこ。頼もしい限りです。  
地域ケア会議への参加や歯  
科衛生士養成実習の受入れな  
ど、地域に向けても幅広く活  
躍されています。

【人材育成】  
新人職員には若手職員がプ  
リセプターとなり、1年間指  
導しています。教わる側も教  
える側も一緒に課題を解決し  
ながら成長していくことが  
でき、ここ10年で就職した新卒  
介護職員の割合は全介護職員  
の25%になります。



【取材後記】—今回訪れた  
のは平成16年に静岡市清水  
区に開設されたレジデンス  
花。当日は初夏のさわやかさ  
にあふれる絶好の取材日和で  
した。取材をして印象的だっ  
たのは「川のせせらぎや鳥の  
声が聞こえる自然に恵まれた  
集落の中で、ゆったりと暮ら  
し続けているご利用者たちの  
姿」でした。それがレジデン  
ス花に寄せられる家族の声に  
も繋がっていることを実感し  
た一日となりました。



新人に指導する先輩職員

【施設見学も随時受け付けて  
いるとのこと。ご興味のある  
方は現地にお出掛けになるこ  
とをお勧めします。  
(事務局・山崎)



排泄ケアの研修

ての研修会やインターネット  
で受講できるオンライン研修  
の提供など様々な形で職員の  
学びをバックアップしていま  
す。

〒424-0401 静岡県静岡市清水区中河内2717番地 TEL:054-343-2121 FAX:054-396-3911 URL: https://hanazonokai.com/facility/hana/index.html

<居住棟> 平屋建て…60室(6ユニット) 4階建て…60室(6ユニット) ※うちショート20室(2ユニット)

# 大分県

社会福祉法人 みのり村  
特別養護老人ホーム

# 菩提樹

～ ユニット型は世界に誇れる特養 ～  
社福はビジネスではなく困っている人を助けるためにある



綱領  
この社会福祉法人みのり村は、仏教精神に基づいた、  
みのりの精神により創設されたものである。  
みのりの精神とは「無所得の奉仕 絶対の慈悲 不断の研究」による  
大聖釈尊の理想とする救世浄土の福祉社会をつくることを目指すものである。  
(創設時原文) SINCE 1951



パブリックスペース



上 理事長室にある禅師の教え  
下 法要などを行う仏間

法人名にある「みのり」は  
仏法を尊んだ言い方の「御法」  
と書きます。報恩寺住職の大  
木英正、浜子夫妻が戦後の混  
乱と窮乏のなか、昭和26年に  
西日本で初めての知的障害児  
施設「みのり園」を開設しま  
した。その後、知的障害児の  
高齢化への対応から、みのり  
村の中に特養「菩提樹」を昭  
和49年に開設、平成20年には  
現在のユニット型に増改築し  
ました。創設者の「困った人  
たちを支援したい」という思  
いは、現在も基本的な理念と  
して脈々と受け継がれて今日  
に至っています。



施設全景写真

【法人・施設の紹介】  
当法人は大分県杵築市の  
JR日豊本線大神駅から徒歩  
5分の場所にあります。杵築  
は室町時代初期に杵築城が築  
城され、「九州の小京都」と  
も呼ばれ、600年もの間、  
城下町として栄えました。



天皇・皇后行幸啓(左)と  
御下賜金(右)



和テイストのユニットのしつらえ

【御下賜金を4回拝受】  
平成29年12月、大分県庁  
にて県知事から伝達書と天皇  
陛下の御下賜金を頂戴しまし  
た。当法人は、昭和33年、  
36年、40年にも御下賜金  
を拝受しており、4



和テイストのユニットのしつらえ

【高年齢者雇用優良事業】  
「人が人を大事にする」と  
いう経営方針のもと、定年後  
も働きたい人が長く働き続け  
られるよう、高齢者が働きや  
すいように定年制度を改善し  
ました。60歳定年(現在は65  
歳定年)の後は希望者全員を  
65歳まで嘱託職員として継続  
雇用しています。その後は一  
定条件に該当する人を70歳ま  
で嘱託職員として継続雇用。  
その後も制度化してはいま  
せんが、健康上問題が無けれ  
ば引き続き雇用し、生涯現役  
で働ける職場を実現していま  
す。平成28年度には高年齢者  
雇用開発コンテスト(独立行  
政法人高齢・障害・求職者雇  
用支援機構)で理事長表彰優  
秀賞を受賞しました。

【大木隆理事長から】  
ユニット型個室は日本の誇り  
ユニ  
ット型個室は日本の誇り  
ユニ  
ット型個室は日本の誇り

【敷地内の供養塔】  
知的障害児施設から始ま  
ったこともあり、障害者の場合  
は親が先に亡くなられ、身寄  
りのない入居者が多い傾向に  
あります。そのため、施設  
で看取りから供養塔への納  
骨までを行  
っています。

【大木隆理事長から】  
ユニット型個室は日本の誇り  
ユニ  
ット型個室は日本の誇り

回目となります。60年には前  
天皇・皇后陛下が当法人に  
行幸啓されました。

〒873-0013 大分県杵築市日野1921番地の7 TEL:0987-66-1200 FAX:0978-62-2974 URL: http://www.minorimura.or.jp/menu\_facility/s\_tybodaiju\_top/

【特養】91室(9ユニット) ※うちショート5室

# 介護ニュース・ダイジェスト

6月1日～6月30日

介護に関する政府機関や民間団体の動きを掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPなどをご覧ください。赤字は重要ニュース。□は推進協に関係するニュースです。

## 推進協 実地研修施設勉強会

(6月3日) VR体験会など  
今年度のユニットリーダー実地研修の勉強会が開かれ、VR機材を使った認知症体験会やユニットケア事例発表、ケアに関する講演などが行われた。2面に関連記事。

## 外国人の大都市集中を懸念

(6月3日) 自民党合同会議が提言  
自民党の外国人労働者受け入れに関する合同部会は特定技能資格の外国人が地方から賃金水準の高い大都市へ移る恐れがあるとして政府に対策を講じるよう提言した。最低賃金の全国一律(定額化)は見送った。

## 社員総会 協力を強く要請

(6月4日) 厚労省検討会で赤枝会長  
推進協の第14回社員総会で赤枝会長は「厚労省に設置された個室ユニット型施設の推進に関する検討会」で介護報酬や配置基準等の見直しを求める。会員の理解と協力を是非お願いしたい」と述べた。6月に詳細記事を掲載。

## 「1割削減は参考目標」

(6月4日) 認知症大綱で厚労相  
根本厚労相は政府が先に発表した認知症施策大綱案について「70代の認知症割合を10年で1割削減」とする数値目標を撤回して「参考目標」に変更すると述べた。関係団体などからの強い反発に配慮した。

## 人口の自然減40万人超

(6月7日) 18年人口動態統計  
厚労省の「2018年人口動態調査統計(概数)」によると、死亡数は136万2482人で戦後最多、出生数は91万8397人で統計開始から最少となり、自然減は44万4085人で40万人台を突破した。合計特殊出生率は1.42で3年連続減少。

## 「時間単位」の取得可能に

(6月6日) 規制改革推進会議が答申  
政府の規制改革推進会議は安倍首相に第5次答申(書)を提出した。介護関係では

①介護休暇制度の柔軟化(時間単位の取得可能へ)②介護休暇制度の情報共有の徹底(第2号被保険者への両立支援強化)③一な

## 社福会計基準検討会が初会合

(6月10日) 法人再編の基準策定へ  
社会福祉法人の合併や事業譲渡に備え、厚労省は「社会福祉法人会計基準検討会」の初会合を開いた。現行の会計基準(平成27年度全面移行)には合併や事業譲渡に必要な会計処理の仕組みがないため、結合に必要な会計基準を策定する。年内に意見集約する。

## 「報告書受け取らぬ」財務相

(6月11日) 老後2千万円不足問題  
麻生太郎財務相は財務省の金融審議会ワーキングチームがまとめた報告書について「政府方針と異なり、受け取らない」と述べた。

## 中核市に権限を一元化

(6月14日) 介護事業所の指定・指導  
厚労省は関係自治体に介護事業所の指定及び指導・監督の権限を中核市に一元化する通知を出した。第9次地方分権一括法で介護保険法が改正され、都道府県の業務管理権限を中核市へ移譲する。2021年4月1日施行。

## 特養の報酬見直しを要望

(6月14日) 首都圏9都府県  
東京都、神奈川県、埼玉県、横浜市など9都府県は、特養の整備や改修などに関する要望書を根本厚労相に提出した。①定員規模に応じた報酬を設定する②地域区分を実態に合わせて見直す③大規模修繕費を地域医療介護総合確保基金の補助対象とする。

## 社福も「連携法人」創設

(6月14日) 社福事業展開検討会  
第3回「社会福祉法人の事業展開等に関する検討会」で厚労省は政府方針である社会福祉法人の協働化や大規模に対応するため医療法人の「医療連携推進法人」のような連携法人を創設して対応する方針などを提示した。今秋にも具体案を示す。

## 「共生」と「予防」が両輪

(6月18日) 認知症施策推進大綱  
関係関係会議は「新オレンジプラン」の後継となる新認知症推進施策の大綱を了承した。認知症の人の「共生」と、進行を遅らせる「予防」を施策の両輪として位置付けた。計画期間は2025年まで。「70代の発症を10年間で1歳遅らせる」との数値目標は「参考値」に格下げした。

## 軽度の給付見直しなどを建議

(6月19日) 財政審「令和時代の財政」  
財政制度等審議会は「令和時代の財政の在り方」を麻生財務相に建議(提言)した。介護関係では①要介護1・2の生活援助サービス等を地域支援事業へ移行する②調整交付金をインセンティブ交付に活用する③利用者負担の原則2割、老健や介護医療院などの多床室室料を給付対象外とするなどを盛り込んだ。

## 骨太方針19を閣議決定

(6月21日) 消費税率10%実施  
政府は臨時閣議で2019年の「経済財政運営と改革の基本方針」(骨太方針)と成長戦略を決定した。各省庁は同方針に沿って20年度予算案概算要求の策定に着手する。骨太方針は①10月1日から消費税率を10%へ引き上げる②総額2兆円規模の増税影響対策を実施する。など。

## 個室ユニット型推進検討会

(6月21日) 第2回ユニット検討会  
第2回の「個室ユニット施設の推進に関する検討会」(※非公開)は自治体から特養の整備状況などについてヒアリングした。

## データ収集項目でヒアリング

(6月21日) 科学的介護検討会  
第8回の「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」は、20年度稼働予定の介護データベースCHASE(チェイス)に収集すべき項目(認知症、口腔、栄養など)の選定について構成員からヒアリングした。

## 推進協 ユニット議連に要望

(6月26日) 報酬や配置など5項目  
推進協は自民党ユニットケア推進議員連盟に①基本報酬単価の見直し②特定処遇改善加算(全ユニットリーダー対象と固有加算率の設定)③人員配置基準の緩和(非常勤職員の一常勤職員換算)④ユニット型の調査(個室ユニットの実態把握と検証)⑤生活保護の方への尊厳確保(個室ユニット入居を推進)を要望した。1面参照。

## ◎入会施設のご紹介◎

◆特養 太陽の家座間  
支部名 神奈川支部  
法人名 社会福祉法人ユーアイ二十一  
法人代表者 理事長 石渡庸介  
施設代表者 施設長 城達夫  
住所 〒252-0027  
座間市座間二丁目861-1  
電話 046(298)5133

## 【用語解説】

個室ユニット型の人員配置  
厚労省の「指定介護老人福祉施設の人員、施設及び運営に関する基準」によると、ユニット型介護老人福祉施設は①昼間はユニットごとに常時1人以上の介護職員または看護職員を配置すること②夜勤及び深夜は2ユニットごとに1人以上の介護職員または看護職員を深夜・夜間勤務職員として配置すること③ユニットごとに常勤のユニットリーダーを配置することとしているが、介護人材不足で確保が難しく、緩和を求める声が高まっている。

## ズバリ回答!

## 人事・労務のお悩み

## ◎職員の紹介による採用制度

【今月の相談内容】  
職員の知人や友人を紹介してもらい、選考を実施する採用制度を検討中です。紹介を受けて採用となった場合、紹介してくれた職員に報酬を支給しようと考えています。運用上、留意すべき点があるでしょうか。

## 【回答】

採用制度の事を、経済界などでは「リファラル制度」と呼んでいます。人手不足から、最近よく聞くようになりました。メリットとして、①人材紹介会社に支払う手数料より低コストで済む②仕事の内容が分かっている職員が勧誘するため、職場環境の状況が伝わりやすく、採用に至る確率が高いことがあります。○リファラル制度とは  
職業安定法の労働者の募集に該当するもので、職員の業務とするかしないかに

「NPO法人自立支援センターむくPC工房(東京都江戸川区木村利信理事長)は無料で引き取ったPCのリサイクルなどで障がい者の就労支援事業を展開している。PCのリサイクルによる支援は珍しく、社会福祉法人などから見学依頼や問い合わせが多いという。

「好きなことを仕事に」  
そのほか、ゲーム、LINEスタンプ、イラストや音楽の作成、パワーストーンアクセサリーの製作販売、VR動画等の作成、意思伝達装置の開発なども行っている。障がい者が作業を通して才能やスキルを伸ばし、「好きなことを仕事に」つなげることを目指している。



音楽を作成中



プラと紙のカプセル

## ◇PC 無料引き取りリサイクル◇ NPO 法人自立支援センターむく



手早く分解  
ちが分解した金属がメダルになることでオリピックへの関心

無料で引き取ったパソコンなどの精密電子機器を分解し、鉄、銅、アルミ、合金、樹脂などに分別。機器には貴金属類、レアアース(希土類)、レアメタル(希少金属)に分別する作業を就労支援として実施している。東京都が実施した「都市鉱山から作るメダルプロジェクト」にも参加し、必要量の抽出を達成した。障がい者も自分たちが分解した金属がメダルになることでオリピックへの関心

## 今後の予定

- 9月2日(月)～9月18日(水) 第2期ユニットリーダー研修(座学) 名古屋・9月2日(月)～3日(火) 仙台・9月5日(木)～6日(金) 大阪・9月9日(月)～10日(火) 東京・9月17日(火)～18日(水) ○9月30日(月) 支部長会、研修委員会、介護保険委員会 ヨコハマランドインテックセンターホテル
- 10月1日(火) 総務企画広報委員会、第2回理事会 ヨコハマランドインテックセンターホテル
- 10月21日(月)～25日(金) 第2回認知症介護実践者研修(横浜市) しょうじゅの里鶴見(横浜)
- 1月9日(木)～1月24日(金) 第3期ユニットリーダー研修(座学) 福岡・1月9日(木)～10日(金) 名古屋・1月16日(木)～17日(金) 東京・1月23日(木)～24日(金) 沖縄・1月23日(木)～24日(金) ○2月6日(木)～7日(金) 第2回ユニットケア施設管理者研修 大田区産業プラザ(東京)